



波動の入り口

アクアタック研究室
<http://www.aquatack.com>

● “波動”ってなんですか？

とてつもなく奥が深くてむずかしい世界ではありますが、もし尋ねられたら、^{たず}“東洋医学でいう気”あるいは“生命エネルギー”と答えておいて、ほぼ間違いありません。

でも、もう少し説明を加えましょう。

まず、わたしたちは、単なる機械ではありません。“肉体”という物質だけではなく、その成長や活動をつかさどる“生命力”、喜怒哀楽・好き嫌いの“感情”、客観的に思考する知性的な“精神”——こういったものが一体となって生きています。

そして通常は、生命力・感情・精神を“波動”と呼んでいます。なぜ“波動”なのかというと、これらは波のように振動する微細なエネルギーだからです。

といっても、肉体を波動に含めないのは、^{べんぎ}便宜上のことにすぎません。肉体や物質は、とても“振動している”ようには見えませんから、習慣的に、波動とは別のものと考えています。しかし、これらもまた、波動の一形態なのです。“とても重く変化のおそい波動”といえいいでしょうか。

さて、こうみえてくると、動物・植物はいうまでもなく、水も鉱物も、^{しんらばんしょう}森羅万象、すべては波動なのだと考えてよさそうです。

どうですか？ このような視点から眺めてみると、^{なが}周囲のさまざまなものがいとおしくなりませんか？ 犬、虫、石ころ、ゴミ、見あきたご亭主、口うるさい女房どの ...。もし少しでもそんな気持ちになってきたとしたら、それはきっと、^{しょうご}理屈でなく“波動”がわかってきた証拠です。

● 波動測定からわかることは？

このような“波動”の状態を数値で表わすのが波動測定で、

人(犬・猫・鳥 ...)の健康チェック

食品・化粧品・宝石などがどのように作用するのかの分析

人(犬・猫・鳥 ...)と食品などとの相性調べ

などができます。また、^{しょうご}の場合、測定にもとづいて、現在のその人(動物)に合う波動水をつくることもできます。

いまでは、自然療法に関心のあるクリニックをはじめ、某大学病院でもおこなわれていますし、みなさんよくご存知の食品メーカー、ファーストフードなどでも、表にこそ出ませんが、活用されています。

● 人（犬・猫・鳥 ...）の測定のしかたは？

波動測定では、[ホルモンバランス][肝臓][幸福・愛情]といった項目が1500ほど用意されていて、測定値は、プラスいくつ、マイナスいくつ、と表現されます。数値は、どの項目も、プラスの方が、望ましい意味になります。

アクアタック研究室の 波動測定器

アクアタック研究室では、“QRS（量子共鳴分析器）”という測定器を使っています。これは、当時北里大学医学部の助教授であった中村國衛先生らによって開発されたもので、基本的な仕組みは、最初に日本に導入されたMRAと同じですが、表現できる桁数の多い点などが異なっています。

ただし、病院検査の代わりにするものではありません。良くも悪くも、まず波動の変化がありますから、むしろ、肉体に現れる以前の段階をチェックしているといえます。

測定を受けるのは簡単です。測定器につなげた金属棒を軽く握っていただくだけです。また、ご本人が来られない場合、毛髪や尿だけでも測定できますから、動けない方や忙しい方にもご利用いただけます（わんちゃんなどは体毛で）。

● 食品や化粧品の波動値は 高いほどいいのでしょうか？

学校の成績やスポーツの記録を見る頭があるので、どうしても「高い方が勝ち！」と考えたくなるのですが、一概にそうとはいえません。^{いちがい}

たしかに、“波動が高い”ということは、“エネルギーが活発に動いている”ということです。でも、それだからこそ不都合な場合もあります。

もし、あなたのパートナーが、あなたよりずっと活発な人だったらどうでしょう。ヘトヘトになって、かえってマイナスかもしれないし、テンポが違いすぎて、最初から別行動かもしれない。

食品や化粧品、宝石も同じで、“あなたより少し高いくらい”の波動が、ちょうどいいと思われるのです。

アクアタック研究室の すたっふ

片岡 章 ... 測定担当。玄米菜食中心のクリニックに勤務。そこで、1992年より波動測定に従事。1996年アクアタック研究室設立。

片岡洋子 ... アシスタント。
「なにを食べたらいいの？」
「なにをしたらいいかわからない」など各種お話をうけたまわり役。